



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

令和5年度 第4号

令和6年3月7日

■■「第4回学校運営協議会」を開催しました■■

3月6日(水)に第4回目の学校運営協議会を行いました。今回は、学校評価、令和5年度の学校運営・教育課程などについて協議しました。

【学校評価について】

評価項目	意見
【学力の向上】 ○児童の表現力を伸ばす授業づくり	<ul style="list-style-type: none">・振り返りを行うことは、非常によいことだ。自分が今までしたことの再確認し、書き留めておくことは大事だと思う。・教員のスキルを高める必要がある。ICT支援員等を活用しながら、研修を深めてほしい。また、費用面で基山町での、ソフト、ハード面でのサポートを期待している。
【心の教育】 ○児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ○いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ○児童生徒が夢や希望を持ち、その実現に向けて、意欲的に取り組もうとするための教育活動	<ul style="list-style-type: none">・人権意識や思いやりの心はもっと高めてほしい。・いじめの早期発見については、子供が困っているとかいやな気持ちになっているとかいうことに早く気付く教員の評価が高まればよいと思う。現在の法律の定義でいう「いじめ」はどこにでもあるもの。アンテナを高くして、いじめをたくさん見つけて、報告する教員が素晴らしいと思う。・いじめのアンケートに本当のことを書いていない子いるのではないかと。子供たちが大人に安心して助けを求められるような関係(環境)を作してほしい。
【健康・体づくり】 ○望ましい生活習慣の形成	<ul style="list-style-type: none">・学校では、早起きの時刻を6:30から7:00に変更してもよいのでは、という意見もあったようだが、起きる時刻は6:30のままがよいと思う。余裕を持って起き、準備をする週間を身に付けてほしい。・来年度は、寝る時刻・起きる時刻を指標にするのではなく、何時間寝たかという睡眠時間を指標にしてもよいのではないかと。・朝ご飯を食べていない子が何名かいるようだ。最近、ヤングケアラーの問題も話題になっていて、心配だ。スクール・ソーシャル・ワーカーや民生・児童委員等の専門家とも連携をとりながら観察してほしい。
【業務改善・教職員の働き方改革の推進】 ○業務効率化の推進と時間外在校時間の削減	<ul style="list-style-type: none">・先生たちのゆとりを生み出すためには、マンパワーが必要である。どうにかして、教員の数を増やす必要がある。また、大学生などがサポートをしてくれるシステムがあればよい。
【特別支援教育の充実】 ○児童一人一人の能力を伸ばし、多様な交流を通して、互いに認め合い、高め合う仲間集団の育成	<ul style="list-style-type: none">・特別支援学級の在籍児童数や学級数をみると、特別支援教育の充実は、若基小の大きな課題である。今後もいろいろな研修を通して、その専門性を高めてほしい。・年度当初よりも、特別支援学級在籍の子供が落ち着いてきていると聞いて、安心した。

地域住民の皆様、学校運営協議会委員の皆様には、学習支援ボランティアや登下校の見守りなど、1年間ご支援いただき感謝申し上げます。皆様に温かく見守っていただいているおかげで、若基小学校の子供たちは、毎日穏やかに笑顔で学校生活を送ることができています。来年度も、子供たちが安心して過ごせるような地域と共にある学校を目指して、教育活動を実践していきたいと思っております。